

委員の新火葬場候補地の評価結果（順不同）

項目名	重要度	視点	評価				採点				合計点			
			ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原
1. 候補地の位置等の現況	(30%)	各候補地の現況について客観的に比較する									27.6	27.6	27.5	20.1
(1) 市中心部（多治見駅）からの距離と所要時間	5%	幹線道路を利用したアクセスのしやすさ等について	○	○	◎	○	75	75	100	75	3.8	3.8	5.0	3.8
(2) アクセス道路の状況	10%	住民負担の観点から生活道路を経由しないことが前提	◎	◎	◎	○	100	100	100	75	10.0	10.0	10.0	7.5
		狭隘や急な勾配がなく、定刻性が見込まれるアクセスが望ましい												
(3) 日照、騒音、通風、自然環境等の状況	10%	火葬場としてふさわしい静寂感、環境が望ましい	◎	◎	○	△	100	100	75	50	10.0	10.0	7.5	5.0
(4) インフラ整備状況	5%	電気、水道、下水道等のインフラが整備されているか	○	○	◎	○	75	75	100	75	3.8	3.8	5.0	3.8
2. 火葬場が周辺環境に与える影響	(20%)	以下について検証する									18.8	18.8	17.6	20.0
(1) 環境へ及ぼす影響	5%	日照、騒音、通風、自然環境等において及ぼす状況	◎	◎	○	◎	100	100	75	100	5.0	5.0	3.8	5.0
(2) 景観へ与える影響	5%	景観に影響する程度（可視的な人工物の大きさ等）。従来の火葬場のイメージを払拭し、文化的な施設の外観を呈するよう配慮することで、景観への影響を小さくすることが前提	◎	◎	○	◎	100	100	75	100	5.0	5.0	3.8	5.0
(3) 周辺道路へ及ぼす影響	5%	交通渋滞等へ及ぼす影響。（最大で1日100台程度と想定、また、火葬場の利用は、通常朝タラッシュ時は少ないことが前提）	◎	◎	◎	◎	100	100	100	100	5.0	5.0	5.0	5.0
(4) 河川への影響	5%	排水（雨水、汚水）が及ぼす影響。（火葬自体からは排水は発生しない）	○	○	◎	◎	75	75	100	100	3.8	3.8	5.0	5.0
3. 建設コスト（単位：千円）	(30%)	候補地の現況と関連するが、以下の項目について全体的に判断する									25.8	27.1	20.1	20.0
(1) 土地取得経費	5%	土地取得経費の多寡	○	○	○	◎	75	75	75	100	3.8	3.8	3.8	5.0
(2) 造成経費（場内道路、調整池、擁壁含む）	10%	造成経費の多寡（接続道路、景観配慮含む）	◎	◎	△	△	100	100	50	50	10.0	10.0	5.0	5.0
(3) 防災施設経費（周辺部）	3%	防災施設経費の多寡	◎	◎	○	△	100	100	75	50	3.0	3.0	2.3	1.5
(4) 環境アセス・文化財等調査経費	5%	文化財、貴重種の保存等のアセス対策事項の多寡	△	○	△	◎	50	75	50	100	2.5	3.8	2.5	5.0
(5) 追加インフラ対策経費	2%	場内道路等のインフラ不足分の追加経費	○	○	○	△	75	75	75	50	1.5	1.5	1.5	1.0
(6) その他必要経費	5%	旧ごみ焼却施設解体費など	◎	◎	◎	△	100	100	100	50	5.0	5.0	5.0	2.5
4. 住民の理解	(20%)	住民同意は要しないが、都計審等の手続きがあり住民理解は重要									13.8	8.8	12.6	16.3
(1) 最寄の民家からの見通しの程度	5%	民家からの距離と見通しの程度	○	◎	○	◎	75	100	75	100	3.8	5.0	3.8	5.0
(2) 住民理解に要する時間	10%	報告会や寄せられた意見等	○	×	△	○	75	25	50	75	7.5	2.5	5.0	7.5
(3) 土地取得に関係する時間	5%	土地取得手続き等に要する期間	△	×	○	○	50	25	75	75	2.5	1.3	3.8	3.8

合計	86.0	82.3	77.8	76.4
順位	1	2	3	4

委員の新火葬場候補地の評価結果（順不同）

項目名	②重要度	視点	③評価				採点				合計点			
			ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原
1. 候補地の位置等の現況	(30%)	各候補地の現況について客観的に比較する									22.8	22.8	25.8	19.6
(1) 市中心部（多治見駅）からの距離と所要時間	3%	幹線道路を利用したアクセスのしやすさ等について	○	○	○	○	75	75	75	75	2.3	2.3	2.3	2.3
(2) アクセス道路の状況	2%	住民負担の観点から生活道路を経由しないことが前提	◎	◎	○	○	100	100	75	75	2.0	2.0	1.5	1.5
		狭隘や急な勾配がなく、定刻性が見込まれるアクセスが望ましい												
(3) 日照、騒音、通風、自然環境等の状況	12%	火葬場としてふさわしい静寂感、環境が望ましい	◎	◎	○	△	100	100	75	50	12.0	12.0	9.0	6.0
(4) インフラ整備状況	13%	電気、水道、下水道等のインフラが整備されているか	△	△	◎	○	50	50	100	75	6.5	6.5	13.0	9.8
2. 火葬場が周辺環境に与える影響	(20%)	以下について検証する									19.0	19.0	16.0	20.0
(1) 環境へ及ぼす影響	6%	日照、騒音、通風、自然環境等において及ぼす状況	◎	◎	○	◎	100	100	75	100	6.0	6.0	4.5	6.0
(2) 景観へ与える影響	4%	景観に影響する程度（可視的な人工物の大きさ等）。従来の火葬場のイメージを払拭し、文化的な施設の外観を呈するよう配慮することで、景観への影響を小さくすることが前提	◎	◎	○	◎	100	100	75	100	4.0	4.0	3.0	4.0
(3) 周辺道路へ及ぼす影響	6%	交通渋滞等へ及ぼす影響。（最大で1日100台程度と想定、また、火葬場の利用は、通常朝タラッシュ時は少ないことが前提）	◎	◎	○	◎	100	100	75	100	6.0	6.0	4.5	6.0
(4) 河川への影響	4%	排水（雨水、汚水）が及ぼす影響。（火葬自体からは排水は発生しない）	○	○	◎	◎	75	75	100	100	3.0	3.0	4.0	4.0
3. 建設コスト（単位：千円）	(30%)	候補地の現況と関連するが、以下の項目について全体的に判断する									24.8	22.8	21.6	20.0
(1) 土地取得経費	5%	土地取得経費の多寡	○	△	○	◎	75	50	75	100	3.8	2.5	3.8	5.0
(2) 造成経費（場内道路、調整池、擁壁含む）	10%	造成経費の多寡（接続道路、景観配慮含む）	○	○	△	△	75	75	50	50	7.5	7.5	5.0	5.0
(3) 防災施設経費（周辺部）	3%	防災施設経費の多寡	◎	○	○	△	100	75	75	50	3.0	2.3	2.3	1.5
(4) 環境アセス・文化財等調査経費	4%	文化財、貴重種の保存等のアセス対策事項の多寡	◎	◎	◎	◎	100	100	100	100	4.0	4.0	4.0	4.0
(5) 追加インフラ対策経費	6%	場内道路等のインフラ不足分の追加経費	○	○	○	△	75	75	75	50	4.5	4.5	4.5	3.0
(6) その他必要経費	2%	旧ごみ焼却施設解体費など	◎	◎	◎	○	100	100	100	75	2.0	2.0	2.0	1.5
4. 住民の理解	(20%)	住民同意は要しないが、都計審等の手続きがあり住民理解は重要									18.0	16.8	10.0	18.3
(1) 最寄の民家からの見通しの程度	7%	民家からの距離と見通しの程度	◎	◎	△	○	100	100	50	75	7.0	7.0	3.5	5.3
(2) 住民理解に要する時間	8%	報告会や寄せられた意見等	○	○	△	◎	75	75	50	100	6.0	6.0	4.0	8.0
(3) 土地取得に関係する時間	5%	土地取得手続き等に要する期間	◎	○	△	◎	100	75	50	100	5.0	3.8	2.5	5.0

合計	84.6	81.4	73.4	77.9
順位	1	2	4	3

委員の新火葬場候補地の評価結果（順不同）

項目名	重要度	視点	評価				採点				合計点			
			ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原
1. 候補地の位置等の現況	(30%)	各候補地の現況について客観的に比較する									27.6	27.6	20.0	18.9
(1) 市中心部（多治見駅）からの距離と所要時間	5%	幹線道路を利用したアクセスのしやすさ等について	○	○	◎	○	75	75	100	75	3.8	3.8	5.0	3.8
(2) アクセス道路の状況	5%	住民負担の観点から生活道路を経由しないことが前提	◎	◎	△	○	100	100	50	75	5.0	5.0	2.5	3.8
		狭隘や急な勾配がなく、定刻性が見込まれるアクセスが望ましい												
(3) 日照、騒音、通風、自然環境等の状況	15%	火葬場としてふさわしい静寂感、環境が望ましい	◎	◎	△	△	100	100	50	50	15.0	15.0	7.5	7.5
(4) インフラ整備状況	5%	電気、水道、下水道等のインフラが整備されているか	○	○	◎	○	75	75	100	75	3.8	3.8	5.0	3.8
2. 火葬場が周辺環境に与える影響	(20%)	以下について検証する									18.8	18.8	15.1	20.0
(1) 環境へ及ぼす影響	5%	日照、騒音、通風、自然環境等において及ぼす状況	◎	◎	○	◎	100	100	75	100	5.0	5.0	3.8	5.0
(2) 景観へ与える影響	5%	景観に影響する程度（可視的な人工物の大きさ等）。従来の火葬場のイメージを払拭し、文化的な施設の外観を呈するよう配慮することで、景観への影響を小さくすることが前提	◎	◎	△	◎	100	100	50	100	5.0	5.0	2.5	5.0
(3) 周辺道路へ及ぼす影響	5%	交通渋滞等へ及ぼす影響。（最大で1日100台程度と想定、また、火葬場の利用は、通常朝夕ラッシュ時は少ないことが前提）	◎	◎	○	◎	100	100	75	100	5.0	5.0	3.8	5.0
(4) 河川への影響	5%	排水（雨水、汚水）が及ぼす影響。（火葬自体からは排水は発生しない）	○	○	◎	◎	75	75	100	100	3.8	3.8	5.0	5.0
3. 建設コスト（単位：千円）	(30%)	候補地の現況と関連するが、以下の項目について全体的に判断する									27.5	25.0	19.0	21.0
(1) 土地取得経費	10%	土地取得経費の多寡	○	△	△	◎	75	50	50	100	7.5	5.0	5.0	10.0
(2) 造成経費（場内道路、調整池、擁壁含む）	10%	造成経費の多寡（接続道路、景観配慮含む）	◎	◎	△	△	100	100	50	50	10.0	10.0	5.0	5.0
(3) 防災施設経費（周辺部）	2%	防災施設経費の多寡	◎	◎	○	△	100	100	75	50	2.0	2.0	1.5	1.0
(4) 環境アセス・文化財等調査経費	2%	文化財、貴重種の保存等のアセス対策事項の多寡	◎	◎	○	◎	100	100	75	100	2.0	2.0	1.5	2.0
(5) 追加インフラ対策経費	3%	場内道路等のインフラ不足分の追加経費	◎	◎	◎	△	100	100	100	50	3.0	3.0	3.0	1.5
(6) その他必要経費	3%	旧ごみ焼却施設解体費など	◎	◎	◎	△	100	100	100	50	3.0	3.0	3.0	1.5
4. 住民の理解	(20%)	住民同意は要しないが、都計審等の手続きがあり住民理解は重要									15.1	12.5	12.5	18.8
(1) 最寄の民家からの見通しの程度	5%	民家からの距離と見通しの程度	○	◎	△	○	75	100	50	75	3.8	5.0	2.5	3.8
(2) 住民理解に要する時間	10%	報告会や寄せられた意見等	○	△	△	◎	75	50	50	100	7.5	5.0	5.0	10.0
(3) 土地取得に係る時間	5%	土地取得手続き等に要する期間	○	△	◎	◎	75	50	100	100	3.8	2.5	5.0	5.0

合計	89.0	83.9	66.6	78.7
順位	1	2	4	3

委員の新火葬場候補地の評価結果（順不同）

項目名	②重要度	視点	③評価				採点				合計点			
			ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原
1. 候補地の位置等の現況	(30%)	各候補地の現況について客観的に比較する									26.0	26.0	27.0	20.0
(1) 市中心部（多治見駅）からの距離と所要時間	5%	幹線道路を利用したアクセスのしやすさ等について	◎	◎	◎	◎	90	90	90	90	4.5	4.5	4.5	4.5
(2) アクセス道路の状況	10%	住民負担の観点から生活道路を経由しないことが前提 狭隘や急な勾配がなく、定刻性が見込まれるアクセスが望ましい	◎	◎	◎	○	90	90	90	70	9.0	9.0	9.0	7.0
(3) 日照、騒音、通風、自然環境等の状況	10%	火葬場としてふさわしい静寂感、環境が望ましい	◎	◎	◎	△	90	90	90	50	9.0	9.0	9.0	5.0
(4) インフラ整備状況	5%	電気、水道、下水道等のインフラが整備されているか	○	○	◎	○	70	70	90	70	3.5	3.5	4.5	3.5
2. 火葬場が周辺環境に与える影響	(20%)	以下について検証する									13.0	14.0	14.0	15.0
(1) 環境へ及ぼす影響	5%	日照、騒音、通風、自然環境等において及ぼす状況	△	○	○	◎	50	70	70	90	2.5	3.5	3.5	4.5
(2) 景観へ与える影響	5%	景観に影響する程度（可視的な人工物の大きさ等）。従来の火葬場のイメージを払拭し、文化的な施設の外観を呈するよう配慮することで、景観への影響を小さくすることが前提	○	○	○	○	70	70	70	70	3.5	3.5	3.5	3.5
(3) 周辺道路へ及ぼす影響	5%	交通渋滞等へ及ぼす影響。（最大で1日100台程度と想定、また、火葬場の利用は、通常朝タラッシュ時は少ないことが前提）	○	○	○	○	70	70	70	70	3.5	3.5	3.5	3.5
(4) 河川への影響	5%	排水（雨水、汚水）が及ぼす影響。（火葬自体からは排水は発生しない）	○	○	○	○	70	70	70	70	3.5	3.5	3.5	3.5
3. 建設コスト（単位：千円）	(30%)	候補地の現況と関連するが、以下の項目について全体的に判断する									21.0	19.0	16.6	19.0
(1) 土地取得経費	10%	土地取得経費の多寡	○	△	△	◎	70	50	50	90	7.0	5.0	5.0	9.0
(2) 造成経費（場内道路、調整池、擁壁含む）	10%	造成経費の多寡（接続道路、景観配慮含む）	○	○	△	△	70	70	50	50	7.0	7.0	5.0	5.0
(3) 防災施設経費（周辺部）	2%	防災施設経費の多寡	○	○	△	×	70	70	50	30	1.4	1.4	1.0	0.6
(4) 環境アセス・文化財等調査経費	2%	文化財、貴重種の保存等のアセス対策事項の多寡	○	○	○	○	70	70	70	70	1.4	1.4	1.4	1.4
(5) 追加インフラ対策経費	3%	場内道路等のインフラ不足分の追加経費	○	○	○	△	70	70	70	50	2.1	2.1	2.1	1.5
(6) その他必要経費	3%	旧ごみ焼却施設解体費など	○	○	○	△	70	70	70	50	2.1	2.1	2.1	1.5
4. 住民の理解	(20%)	住民同意は要しないが、都計審等の手続きがあり住民理解は重要									13.0	10.0	12.0	16.0
(1) 最寄の民家からの見通しの程度	5%	民家からの距離と見通しの程度	△	◎	○	◎	50	90	70	90	2.5	4.5	3.5	4.5
(2) 住民理解に要する時間	10%	報告会や寄せられた意見等	○	×	△	○	70	30	50	70	7.0	3.0	5.0	7.0
(3) 土地取得に関係する時間	5%	土地取得手続き等に要する期間	○	△	○	◎	70	50	70	90	3.5	2.5	3.5	4.5

合計	73.0	69.0	69.6	70.0
順位	1	4	3	2

委員の新火葬場候補地の評価結果（順不同）

項目名	重要度	視点	評価				採点				合計点			
			ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原
1. 候補地の位置等の現況	(30%)	各候補地の現況について客観的に比較する									14.5	25.0	27.0	21.5
(1) 市中心部（多治見駅）からの距離と所要時間	5%	幹線道路を利用したアクセスのしやすさ等について	○	○	◎	○	80	80	100	80	4.0	4.0	5.0	4.0
(2) アクセス道路の状況	5%	住民負担の観点から生活道路を経由しないことが前提	◎	◎	◎	○	100	100	100	80	5.0	5.0	5.0	4.0
		狭隘や急な勾配がなく、定刻性が見込まれるアクセスが望ましい												
(3) 日照、騒音、通風、自然環境等の状況	15%	火葬場としてふさわしい静寂感、環境が望ましい	×	○	○	○	10	80	80	80	1.5	12.0	12.0	12.0
(4) インフラ整備状況	5%	電気、水道、下水道等のインフラが整備されているか	○	○	◎	△	80	80	100	30	4.0	4.0	5.0	1.5
2. 火葬場が周辺環境に与える影響	(20%)	以下について検証する									16.6	16.6	9.1	19.0
(1) 環境へ及ぼす影響	10%	日照、騒音、通風、自然環境等において及ぼす状況	○	○	△	◎	80	80	30	100	8.0	8.0	3.0	10.0
(2) 景観へ与える影響	5%	景観に影響する程度（可視的な人工物の大きさ等）。従来の火葬場のイメージを払拭し、文化的な施設の外観を呈するよう配慮することで、景観への影響を小さくすることが前提	○	○	△	○	80	80	30	80	4.0	4.0	1.5	4.0
(3) 周辺道路へ及ぼす影響	3%	交通渋滞等へ及ぼす影響。（最大で1日100台程度と想定、また、火葬場の利用は、通常朝夕ラッシュ時は少ないことが前提）	◎	◎	◎	◎	100	100	100	100	3.0	3.0	3.0	3.0
(4) 河川への影響	2%	排水（雨水、汚水）が及ぼす影響。（火葬自体からは排水は発生しない）	○	○	○	◎	80	80	80	100	1.6	1.6	1.6	2.0
3. 建設コスト（単位：千円）	(30%)	候補地の現況と関連するが、以下の項目について全体的に判断する									26.0	19.0	14.0	14.0
(1) 土地取得経費	5%	土地取得経費の多寡	○	△	○	◎	80	30	80	100	4.0	1.5	4.0	5.0
(2) 造成経費（場内道路、調整池、擁壁含む）	10%	造成経費の多寡（接続道路、景観配慮含む）	◎	○	△	△	100	80	30	30	10.0	8.0	3.0	3.0
(3) 防災施設経費（周辺部）	5%	防災施設経費の多寡	○	△	△	×	80	30	30	10	4.0	1.5	1.5	0.5
(4) 環境アセス・文化財等調査経費	5%	文化財、貴重種の保存等のアセス対策事項の多寡	○	○	△	◎	80	80	30	100	4.0	4.0	1.5	5.0
(5) 追加インフラ対策経費	1%	場内道路等のインフラ不足分の追加経費	○	○	○	×	80	80	80	10	0.8	0.8	0.8	0.1
(6) その他必要経費	4%	旧ごみ焼却施設解体費など	○	○	○	×	80	80	80	10	3.2	3.2	3.2	0.4
4. 住民の理解	(20%)	住民同意は要しないが、都計審等の手続きがあり住民理解は重要									6.0	7.5	5.5	17.0
(1) 最寄の民家からの見通しの程度	5%	民家からの距離と見通しの程度	△	○	×	○	30	80	10	80	1.5	4.0	0.5	4.0
(2) 住民理解に要する時間	10%	報告会や寄せられた意見等	△	△	×	○	30	30	10	80	3.0	3.0	1.0	8.0
(3) 土地取得に関係する時間	5%	土地取得手続き等に要する期間	△	×	○	◎	30	10	80	100	1.5	0.5	4.0	5.0

合計	63.1	68.1	55.6	71.5
順位	3	2	4	1

委員の新火葬場候補地の評価結果（順不同）

項目名	②重要度	視点	③評価				採点				合計点			
			ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原
1. 候補地の位置等の現況	(30%)	各候補地の現況について客観的に比較する									23.8	23.8	22.6	11.3
(1) 市中心部（多治見駅）からの距離と所要時間	5%	幹線道路を利用したアクセスのしやすさ等について	○	○	○	○	75	75	75	75	3.8	3.8	3.8	3.8
(2) アクセス道路の状況	10%	住民負担の観点から生活道路を経由しないことが前提	○	○	○	×	75	75	75	25	7.5	7.5	7.5	2.5
(3) 日照、騒音、通風、自然環境等の状況	10%	狭隘や急な勾配がなく、定刻性が見込まれるアクセスが望ましい 火葬場としてふさわしい静寂感、環境が望ましい	◎	◎	○	×	100	100	75	25	10.0	10.0	7.5	2.5
(4) インフラ整備状況	5%	電気、水道、下水道等のインフラが整備されているか	△	△	○	△	50	50	75	50	2.5	2.5	3.8	2.5
2. 火葬場が周辺環境に与える影響	(20%)	以下について検証する									15.2	15.2	15.1	16.4
(1) 環境へ及ぼす影響	5%	日照、騒音、通風、自然環境等において及ぼす状況	○	○	○	○	75	75	75	75	3.8	3.8	3.8	3.8
(2) 景観へ与える影響	5%	景観に影響する程度（可視的な人工物の大きさ等）。従来の火葬場のイメージを払拭し、文化的な施設の外観を呈するよう配慮することで、景観への影響を小さくすることが前提	○	○	△	○	75	75	50	75	3.8	3.8	2.5	3.8
(3) 周辺道路へ及ぼす影響	5%	交通渋滞等へ及ぼす影響。（最大で1日100台程度と想定、また、火葬場の利用は、通常朝タラッシュ時は少ないことが前提）	○	○	○	○	75	75	75	75	3.8	3.8	3.8	3.8
(4) 河川への影響	5%	排水（雨水、汚水）が及ぼす影響。（火葬自体からは排水は発生しない）	○	○	◎	◎	75	75	100	100	3.8	3.8	5.0	5.0
3. 建設コスト（単位：千円）	(30%)	候補地の現況と関連するが、以下の項目について全体的に判断する									20.1	22.6	16.8	16.4
(1) 土地取得経費	5%	土地取得経費の多寡	×	△	×	◎	25	50	25	100	1.3	2.5	1.3	5.0
(2) 造成経費（場内道路、調整池、擁壁含む）	10%	造成経費の多寡（接続道路、景観配慮含む）	○	○	△	△	75	75	50	50	7.5	7.5	5.0	5.0
(3) 防災施設経費（周辺部）	3%	防災施設経費の多寡	○	○	△	×	75	75	50	25	2.3	2.3	1.5	0.8
(4) 環境アセス・文化財等調査経費	5%	文化財、貴重種の保存等のアセス対策事項の多寡	△	○	△	○	50	75	50	75	2.5	3.8	2.5	3.8
(5) 追加インフラ対策経費	2%	場内道路等のインフラ不足分の追加経費	○	○	○	×	75	75	75	25	1.5	1.5	1.5	0.5
(6) その他必要経費	5%	旧ごみ焼却施設解体費など	◎	◎	◎	×	100	100	100	25	5.0	5.0	5.0	1.3
4. 住民の理解	(20%)	住民同意は要しないが、都計審等の手続きがあり住民理解は重要									5.8	6.6	7.1	15.8
(1) 最寄の民家からの見通しの程度	2%	民家からの距離と見通しの程度	×	◎	△	○	25	100	50	75	0.5	2.0	1.0	1.5
(2) 住民理解に要する時間	15%	報告会や寄せられた意見等	×	×	×	○	25	25	25	75	3.8	3.8	3.8	11.3
(3) 土地取得に係る時間	3%	土地取得手続き等に要する期間	△	×	○	◎	50	25	75	100	1.5	0.8	2.3	3.0

合計	64.9	68.2	61.6	59.9
順位	2	1	3	4